

《記載例》

様式第1号（第5条関係）

令和〇年〇月〇〇日

徳島県知事 殿

住 所 徳島県徳島市〇〇〇〇〇〇

氏 名 〇〇〇〇株式会社

代表取締役 〇〇 〇〇

〔法人にあつては、主たる事務所の所在地
及び名称並びに代表者の氏名〕

補助金交付申請書

補助金の交付を受けたいので、徳島県補助金交付規則第3条の規定により、次の関係書類を添えて申請します。

1 補助事業名

徳島県外国人材受入環境整備事業

2 補助金交付申請額

565,000円

3 補助事業完了予定年月日

令和〇年〇月〇〇日

納品又は支払いが完了する日のいずれか遅いほうの日を記入してください。

4 関係書類

(1) 事業計画書（別紙1）

登記事項証明書は概ね3か月以内のものを添付してください。

(2) 誓約書（別紙2）

(3) 事業実態の確認ができる書類（法人の場合は、**登記事項証明書の写し**、個人事業主の場合は直近の確定申告書等の写し又は個人事業の開業届出書の写し等）

(4) **補助対象経費に係る見積書等の算出根拠書類**

(5) **外国人材の受入れ状況（予定含む）を確認できる書類**

補助事業の対象となる外国人の方（別紙1の事業計画に氏名を記載）の雇用が確認できる書類を添付してください。

(6) その他知事が必要と認める書類

5 担当者の氏名、連絡先（個人の場合は、連絡先のみ御記入ください）

氏名 〇〇 〇〇

連絡先 088-〇〇〇-△△△△

事業計画書

1 申請者の概要

事業者名	〇〇〇〇〇株式会社		
代表者及び 役職名	代表取締役 〇〇〇〇		
所在地	〒770-△△△△ 徳島県徳島市〇〇〇〇〇		
担当者及び 役職名	総務課 課長 〇〇 〇〇		
電話番号	088-〇〇〇-△△△△	FAX 番号	088-〇〇〇-□□□□
連絡用メール アドレス	abcde0123@xxxx.jp		

2 事業計画の内容

実施する 取組項目	該当する事業に☑を記入 ☑ 日本語能力の向上を目的に実施する事業 ☑ 生活環境を改善するための事業 ☑ インターンシップ・企業見学等一時受入れに係る事業					
実施予定時期	令和●年●月●日～令和●年●月●日					
外国人材の 雇用状況 (雇用予定含 む)	在留 資格	技能実習	国籍	ベトナム	人数	3人
	在留 資格	特定技能	国籍	インドネシア	人数	2人
	在留 資格	技人国	国籍	インド	人数	1人

法人での雇用状況をご記入ください。グループ全体での雇用数の把握が困難な場合は、対象となる事業所での雇用状況を記入してください。

事業開始予定日は、様式1号補助金
交付申請書の申請日から概ね10日
後の日付を記載してください。

事業終了予定日は様式1号の3補助事業
完了予定年月日と一致させてください。

※該当する内容を選択し、必要事項を記載してください。

※実施内容は具体的に記載してください。

全ての経費について見積書の添付が必要です。

研修参加費、日本語能力試験の受験費用等、見積書の添付ができない場合は金額が確認できる書類を添付してください。

具体的な
事業内容

【日本語能力の向上を目的に実施する事業】

1 日本語学習教材購入（教材費及び受講料）

(1)教材・講座名

『ビジネス日本語トレーニング』、『技能実習生のための安全管理日本語』、オンライン日本語講座「〇〇日本語プラス」

(2)学習内容：

建設現場における安全指示の理解、社内コミュニケーション円滑化のための日常・ビジネス会話の習得

(3)事業対象となる外国人材の氏名

グエン ヴァン クアン、チャンティ マイ、レホアン ナム
(計3名)

(4)費用内訳

- ・教材書籍代：3,000円 × 3名 = 9,000円
- ・オンライン講座受講料：15,000円 × 3名 = 45,000円
- 小計：54,000円（税抜）

2 - 1 日本語講習会の開催

(1)時間 毎週土曜日 10:00～12:00（全10回、計20時間）

(2)会場 〇〇株式会社 本社会議室

(3)実施方法 外部の日本語講師を社内に招へいしての対面講習

(4)受講者の氏名 アグス サントソ、プレティウィ ウィジャヤ
(計2名)

(5)内容 日本語能力試験（JLPT）N3取得を目指した試験対策、現場報告書の書き方指導

(6)費用内訳

- ・ 講師謝金：10,000 円 × 10 回 = 100,000 円
- ・ 講師旅費：1,000 円 × 10 回 = 10,000 円
- 小計：110,000 円（税抜）

2 - 2 日本語指導担当者の研修参加

- (1)研修名 外国人材受け入れ企業のための「社内日本語指導者養成講座」
- (2)研修実施機関 一般社団法人 ○○日本語教育普及協会
- (3)研修日程 令和○年9月1日～令和○年9月3日
(計3日間)
- (4)内容 技能実習生や特定技能外国人が現場でつまずきやすい日本語の特徴を学び、社内で「やさしい日本語」を使った業務指示や指導ができる体制を構築するための実践的ワークショップ。
- (5)研修参加者の役職・氏名 総務課 係長 ○○ ○○ (1名)
- (6)受講費 講座受講料：30,000 円（税抜）

3 日本語能力試験の受験

- (1)受験予定年月 令和○年○月
- (2)受験する者の氏名
アグス サントソ、プレティウィ ウィジャヤ (計2名)
- (3)受験料 7,500 円 × 2名 = 15,000 円（税抜）

※上記1, 2については、学習カリキュラムや参加する講座の内容が分かる資料を添付してください。

※事業対象となる外国人材について、氏名を記載いただいた方全員の雇用を確認できる書類を添付してください。

【生活環境を改善するための事業】

(1)事業内容

外国人従業員宿舎（木造2階建てアパート）の各居室における
冷暖房（エアコン）の新設工事

(2)事業対象となる外国人材の氏名

グエン ヴァン クアン、チャンティ マイ、レホアン ナム
（計3名）

(3)宿舎住所

徳島県徳島市〇〇町2丁目4番5号「〇〇株式会社第1宿舎」

(4)エアコン設置・改修の場合のみ記載

エアコンを設置する部屋の畳数6畳（3部屋）、使用人数 3人

(5)費用内訳

エアコン本体および設置工事費：

180,000円×3台＝540,000円（税抜）

※事業内容を確認するため、事業実施前の住居の様子が確認できる写真を添付してください。

※事業対象となる外国人材について、氏名を記載いただいた方全員の雇用を確認できる書類を添付してください。

【インターンシップ・企業見学等一時受入れに係る事業】

(1)参加者の大学名（所在国）、学部、学年

インド〇〇工科大学（インド共和国） 工学部 3年生

(2)参加者数 2人

(3)受入期間 令和〇年8月1日～令和〇年8月15日(15日間)

(4)実施内容

本社の建設DX推進部署での実務体験、実際の建設現場における施工管理の見学・研修

(5)利用交通機関

- ・国際線：デリー～成田（往復航空便）
- ・国内線：羽田～徳島阿波おどり空港（往復航空便）
- ・県内移動：社用車

(6)宿泊施設名・住所

〇〇ホテル（徳島市△△町X-X）

(7)費用内訳

- ・参加者旅費（インド～日本～徳島の往復航空運賃）：
160,000円 × 2名 = 320,000円
 - ・宿泊費：7,000円 × 14泊 × 2名 = 196,000円
 - ・研修費用（専門テキスト翻訳等）：30,000円
- 小計：546,000円（税抜）

※旅費及び宿泊費を対象とする場合は旅程表を添付してください。

3 補助事業に要する経費

(1) 収入の部

(単位：円)

区分	予算額	備考
県補助金	474,000	交付申請額の合計と一致
自己資金	950,500	補助対象外経費（消費税等） 及び上限超過分の自己負担
その他		
計	1,424,500	見積書（税込）の総合計額と一致

(2) 支出の部

実施する事業区分の欄のみ記

(単位：円)

入

取組項目	予算額	備考
日本語能力の向上を目的に実施する事業	209,000	教材費 54,000 円＋講習会 110,000 円＋指導者研修 30,000 円＋試験 15,000 円
生活環境を改善するための事業	540,000	外国人従業員宿舍エアコン 3 台設置費用
インターンシップ及び企業見学等一時受入れに係る事業	546,000	インドからの往復航空賃、 国内宿泊費、翻訳費
補助対象経費計※	1,295,000	各項目の税抜金額の合計
補助対象外経費計	129,500	消費税等
合計	1,424,500	見積書（税込）の総合計額と一致

(注) 補助対象経費は、消費税及び地方消費税を除いたものとする。

(3) 補助金交付申請額

※補助対象経費	補助金交付申請額
1,295,000 円	474,000 円

【内訳】

①日本語向上：209,000 円 × 1/2 = 104,500 円 → 104,000 円（上限 15 万円内）

②生活環境：540,000 円 × 1/2 = 270,000 円 → 270,000 円（上限 30 万円内）

③インターンシップ：546,000 円 × 1/2 = 273,000 円 → 100,000 円（上限 10 万円のため）

※項目ごとに税抜経費から補助額を計算し、千円未満切り捨て